

平成27年度

事業計画書

公益財団法人 伊賀市文化都市協会

# 平成27年度 公益財団法人 伊賀市文化都市協会事業計画

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年6月27日施行）が掲げる「心豊かな国民生活及び活力のある地域社会の実現」を目指しながら、平成27年度は「地域・市民と共に」を基本コンセプトに掲げ、地域住民の教育、芸術文化、生涯学習の振興に資するため、主催公演、講座、体験活動等を積極的に行う。同時に、産学官連携による地域産業創造センターの運営を通じ、環境・食・文化等に関する地域産業の振興に資する事業を行い、創造性豊かで潤いと活力に満ちた地域社会の健全な発展に寄与する。

## 1. 公益目的事業

### 【公1】 芸術文化の普及・振興事業

伊賀市文化会館をはじめとする4つの文化ホール等を有効に活用し、地域住民の芸術文化の普及・振興と地域の教育・福祉の増進に資する事業を行う。音楽、演劇をはじめとして芸術文化に携わる各種の団体や個人との連携を強化するとともに、各種メディアの積極的な活用により各種事業を推進する。

#### (1) 文化ホール主催公演事業

- ・芸術文化に親しむ機会づくりとして、各ホールの特徴を活かした主催公演を企画するとともに、各種ジャンル、年齢層等を考慮し、市民ニーズに応じた多彩な公演の実施に取り組む

■劇団四季ミュージカル、平原綾香コンサート、綾小路きみまろトークショー、宗次郎オカリナコンサートなど

#### (2) 質の高い芸術文化に触れる機会づくり事業

- ・中、長期的なビジョンとしてクラシック人口1%を目標に、モーツァルトやバッハなど有名な作曲家の曲を選曲したコンサートをワンコインで提供するとともに、年4回のセット割引も活用することにより、新たにクラシックファンの発掘に務める。
- ・世界的に活躍する和楽器クラシック集団 AUN J クラシックや、プロの楽団員による親子向けクラシック無料コンサートの実施
- ・ワンコイン等安価な入場料で、定期的にプロの演奏を聴く機会を提供し、来場者が「満足感」を味わえ、リピーターや新規来場者の確保に努め、芸術文化の普及振興を図る

■クラシックのい・ろ・は、AUN J クラシック、親子向けクラシックコンサート、ワンコインコンサートなど

#### (3) 文化活動人材育成事業

- ・伊賀出身のアーティストや地域で活動する団体の発掘及び活用に努め、芸術文化活動に関わる人材の支援・育成を図る

■新人演奏会 in いが、青山推薦コンサート、中高生吹奏楽オープンリハコンサート、伊賀の文化びと応援プロジェクト、避難訓練コンサートなど

#### (4) 芸術・文化参加型普及事業

- ・市民参加型事業の展開を強化し、伊賀に伝わる伝統芸能や伝統文化の鑑賞や体験を通じ、育成及び継承を図る

■子どもミュージカル、伝統楽器等体験講座、能楽体験ワークショップ、和太鼓フェスティバル等

(5) アウトリーチ等による芸術文化の振興事業

- ・積極的に他のイベントとのコラボレーション企画に取り組み、公の施設、教育機関等、様々な場所での音楽鑑賞や演劇、ART 活用事業等アウトリーチ事業に取り組み、芸術文化の振興を図る

■市民夏のにぎわいフェスタ、伊賀市民打ち上げ花火大会、伊賀上野灯りの城下町等

(6) 文化ホール ART 活用事業

- ・文化ホールの建物や空間を活用した ART 事業の開催に積極的に取り組み、ART 作品の展示や手づくり体験、音楽鑑賞、飲食ブース設置など、複合型の事業を展開し、あらゆる世代が楽しみながら芸術・文化に触れていただける機会を提供する
- また、平成26年度から継続して、伊賀市文化会館への移動型展示パネル、展示台の設置に努め、ホワイエ・ロビーをミュージアムとして活用し、芸術文化の振興に取り組む

■光 ART の Christmas、未来へー伊賀びと芸術祭 音楽×ART+αー、いけばなと音楽の祭典(仮称)等

(7) 広報及び情報収集事業

- ・広報事業委員の編集による伊賀の歴史、できごと、人、ものについて掲載する文化情報誌「ぶんと通信」が、6月15日発行号で100号を迎えるにあたり、紙面のリニューアル等に取り組み、積極的な市民への文化情報の提供に努める
- ・大型ショッピングセンター、駅などの集客施設へのポスター、チラシ等の配置はもちろん、公演等のピックアップポストカードを作成し、伊賀地域内の店舗、飲食店への定期配付を実施し、情報告知協力店の確保と広報周知力の拡大に取り組む
- ・文化ホール友の会制度「SaMaZaMa Club」の継続運営と、新規会員の獲得を図る
- ・事業毎のアンケート等の回収や、ターゲットを絞った市民聞き取り調査を実施し、市民ニーズの把握や情報収集に取り組む

(8) 伊賀市文化会館開館25周年事業への取り組み

- ・メインホールである伊賀市文化会館が開館25周年を迎える平成28年度を、新たに「文化発信元年」と位置付け、年度事業では取り組めない、大型鑑賞事業や市民参加型事業、複合型イベント等、様々なニーズに対応した芸術文化発信事業の企画準備に取り組む

(9) 文化ホールの貸室、貸館及び管理運営事業

- ・指定管理者として選定された公の施設等の管理運営及び施設の貸与事業の実施を通して、地域の芸術文化の振興や、教育・福祉の増進に取り組む

■伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、青山ホール、あやま文化センター

(10) 文化ホール等の指定管理者選定についての取り組み

- ・平成27年度は、文化ホール等の指定管理者選定の切り替え年度となるので、長年にわたり、伊賀市の芸術文化振興の専門組織として活動してきた経験とノウハウを基に、時代のニーズに合った文化ホールの管理運営方法や次世代に繋げる芸術文化の振興施策を積極的に提案し、引き続き指定管理者として選定されることに取り組む。

【公2】 図書館等の運営による社会への貢献に資する事業

図書、記録その他の資料を収集し、市民によりよい読書環境を提供することにより、読書

による教養の習得や知識や能力の向上を図るなど社会への貢献に資する事業を行う。

(1) 読書環境提供事業

- ・伊賀市上野図書館、阿山図書室、大山田図書室及びいがまち図書室の図書及び資料の収集と整理を図り、読書環境の整備に努める
- ・伊賀市上野図書館を主館とし、阿山図書室、大山田図書室及びいがまち図書室の連携管理を実施し、インターネットや窓口による図書の貸し出しやレファレンス等、統一したサービスの提供を行う
- ・伊賀市内の図書館及び図書室の図書配送サービスにより、相互貸借制度を充実し、市民の読書の推進を図る

(2) 読書推進事業

- ・子どもたちへの絵本等の読み聞かせ「おはなしの会」の定期的な開催
- ・読み聞かせボランティア養成講座の開催
- ・図書館や書架をライトアップし、温もりのある空間で読書を楽しんでもらう「Night Library」を継続事業とし、音楽の演奏や朗読、紙芝居などを組み合わせた複合型イベントを開催する

**【公3】 地域の文化的遺産の保存・振興事業**

地域の歴史的遺産や民俗資料を保存管理し、広く観覧等活用を図ることにより、郷土文化の振興や市民の文化力の向上に資する事業を行う。

(1) 地域の歴史的遺産や民俗資料の保存管理事業

- ・指定管理者として選定された史跡旧崇廣堂、旧小田小学校本館、入交家住宅、城之越遺跡、赤井家住宅の適正な管理に努め、歴史的遺産や民俗資料の保存に努める
- ・旧小田小学校本館において、学校関係資料を収集、整理し、順次公開する
- ・伊賀市条例に基づき、公益目的に合った施設の貸与を行う

(2) 歴史的遺産の周知及び活用事業

- ・市民が気軽に参加できる文化講座等の開催

■古文書教室、漢文学教室、初等教育施設企画展

- ・モノづくり、伝統文化などの体験型事業の実施

■作って楽しい手づくりひな人形、茶華を楽しむ武家屋敷

- ・文化財施設音楽・演劇鑑賞事業の実施

■史跡旧崇廣堂ワンコインLIVE2015(年3回程度)、芝居小屋あかもん

- ・文化財施設の所在する地域住民との協働事業の実施

■城之越遺跡 竹灯り幽玄祭

- ・文化財施設 ART 活用事業

■光のART展、灯りと華のプロムナード action V (灯りの城下町協働事業)、手づくりアートのひな人形展(伊賀上野城下町のおひなさん共催事業)、AKAIKE ART GALLERY

#### 【公4】 スポーツ等による生涯学習振興事業

スポーツ、野外活動の普及や知識・教養の習得を図り、市民の体力や運動技術の向上、心身のリフレッシュ、自己実現など生涯学習の推進に資する事業を行う。

##### (1) スポーツ振興事業

- ・ニュースポーツ、レクリエーション紹介事業及び普及活動の実施
- ・体育施設を活用し、スポーツを通じた健康づくり教室等の開講

■フィットネス教室（年間）、元気ママとベビー・キッズ3B体操、超脂肪燃焼ボクササイズ、Let's YOGA、ZUMBA、マットエクササイズ、太極拳教室等

- ・市民のスポーツ参加への導入事業の実施

■野球場一般開放集まれグラウンドゴルフ仲間及びBUNTO杯の開催

- ・スポーツ各種競技住民初期体験事業「初めての体験シリーズ事業」の開催

■かけっこ教室、ノルディックウォーキング

##### (2) 生涯学習施設利活用事業

- ・生涯学習施設等で活動する団体との共同による「モノづくり」体験事業等の開催

■なつやすみ てづくり体験 ふえすた等

- ・伊賀市生涯学習センターハイトピア伊賀を活用して、気軽に楽しんでもらえる音楽公演や講演会等の開催

##### (3) キャンプ施設の有効活用事業

- ・キャンプ場を利用したアウトドア体験事業の実施

■伊賀の特産物をキャンプ場で作ってみよう！等

##### (4) 生涯学習振興に係る施設の管理運営事業

- ・指定管理者等として選定された公の施設等の管理運営及び施設の貸与事業の実施

■体育施設 18施設

上野運動公園スポーツセンター、上野運動公園競技場、上野運動公園野球場、上野運動公園体育館、上野運動公園テニスコート、上野運動公園プール、伊賀上野武道館、上野緑ヶ丘テニスコート、ゆめが丘テニスコート、ゆめが丘多目的広場、伊賀市大山田 B&G 海洋センター及び艇庫、伊賀市阿山 B&G 海洋センター及び艇庫、阿山第1運動公園（阿山第1運動公園ゲートボール場を含む）、阿山第2運動公園、青山北部公園運動施設、青山テニスコート、青山グラウンド、島ヶ原グラウンド、

■生涯学習施設 1施設  
栄楽館

■キャンプ施設 1施設  
岩倉峡公園キャンプ場

■業務受託施設 3業務（受付等業務）

三重県立ゆめドームうえの、伊賀市・名張市広域行政事務組合青山ゲートボール場、伊賀市生涯学習センター

## 【公5】 地域産業及び地域文化力の振興事業

産学官連携による環境・食・文化等に関する共同の研究開発、起業の支援及び地域文化力の向上を通して、地域産業の振興と健全な地域社会づくりに資する事業を行う。

- (1) 地域産業振興等施設貸与事業
  - ・産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」の研究室、インキュベーション室、テクノホール等の適正な貸出及び活用
- (2) 起業者への相談、助言の実施
  - ・起業者に対し、技術開発、経営、マーケティング等に関する相談に応じ、新たな企業の創業を支援する
- (3) 産業振興や地域文化力向上を目的とした主催事業の実施

■こども大学 in ゆめテクノ伊賀（夏休み、春休み）

## 2. 収益事業及びその他事業（公益目的事業以外の事業）

公益目的事業の推進に資するために行う収益事業等

### 【収1】 施設の利用者へ利便を提供する事業

- ・当協会が管理する公の施設等に設置した、自動販売機による飲料水の販売
- ・主催公演等に伴う音楽CD等の物品販売

### 【その他1】 公益目的事業に該当しない施設の貸与

- ・指定管理者として管理運営している施設等の貸与のうち、公益目的事業に該当しない施設の貸与

## 3. 法人管理事業

法人全体を管理統括する事業で、評議員会・理事会に関する事、定款及び諸規程の改廃に関する事、職員の勤務条件及び給与に関する事、予算及び決算に関する事、行政庁に対する定期報告事務に関する事、伊賀市等との連絡調整に関する事等を行う。

平成27年度  
収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	992,000	992,000	0
基本財産受取利息	992,000	992,000	0
特定資産運用益	8,000	8,000	0
特定資産受取利息	8,000	48,000	△ 40,000
受取会費	500,000	700,000	△ 200,000
会員受取会費	500,000	700,000	△ 200,000
事業収益	457,901,000	454,128,000	3,773,000
受託事業収益	376,268,000	370,026,000	6,242,000
指定管理収益	311,575,000	309,586,000	1,989,000
業務受託収益	64,693,000	60,440,000	4,253,000
入場料等収益	27,294,000	30,282,000	△ 2,988,000
物品販売等収益	2,937,000	3,119,000	△ 182,000
自動販売機手数料	2,741,000	2,911,000	△ 170,000
物品販売手数料(事業)	71,000	83,000	△ 12,000
物品販売手数料(施設)	125,000	125,000	0
利用料金収入	51,402,000	50,701,000	701,000
受取補助金等	45,487,000	47,532,000	△ 2,045,000
受取地方公共団体補助金	19,485,000	19,220,000	265,000
受取民間補助金	3,180,000	5,490,000	△ 2,310,000
事業補助金等収入	3,180,000	4,290,000	△ 1,110,000
その他補助金	0	1,200,000	△ 1,200,000
受取補助金等振替額	22,822,000	22,822,000	0
雑収益	757,000	853,000	△ 96,000
受取利息	15,000	14,000	1,000
指定管理施設収入(施設)	354,000	455,000	△ 101,000
その他施設	388,000	384,000	4,000
経常収益計	505,645,000	504,213,000	1,432,000
(2) 経常費用			
事業費	478,823,000	477,411,000	1,412,000
役員等報酬	1,921,000	1,469,000	452,000
給料	26,334,000	29,397,000	△ 3,063,000
手当	10,014,000	10,757,000	△ 743,000
退職給付費用	3,225,000	3,324,000	△ 99,000
賃金	119,601,000	110,102,000	9,499,000
福利厚生費	14,017,000	13,917,000	100,000
諸謝金	6,057,000	5,651,000	406,000
会議費	376,000	441,000	△ 65,000
旅費交通費	1,025,000	501,000	524,000
通信運搬費	3,783,000	4,352,000	△ 569,000
減価償却費(建物)	21,041,000	21,041,000	0
減価償却費(構築物)	1,659,000	1,659,000	0
減価償却費(什器備品)	200,000	200,000	0
減価償却費(車両運搬具)	20,000	20,000	0
消耗品費	12,181,000	11,217,000	964,000
修繕費	8,564,000	7,500,000	1,064,000
印刷製本費	9,974,000	8,143,000	1,831,000
燃料費	3,405,000	3,557,000	△ 152,000
光熱水費	47,754,000	49,231,000	△ 1,477,000
賃借料	5,496,000	6,437,000	△ 941,000
手数料	2,008,000	2,279,000	△ 271,000
租税公課	13,517,000	12,779,000	738,000
支払負担金	244,000	215,000	29,000
賞与引当金繰入額	2,573,000	2,852,000	△ 279,000
委託料	151,833,000	161,868,000	△ 10,035,000
広告宣伝料	4,738,000	4,637,000	101,000

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
保険料	2,110,000	2,114,000	△ 4,000
備品費	4,560,000	1,430,000	3,130,000
雑費	593,000	321,000	272,000
管理費	27,957,000	27,934,000	23,000
役員等報酬	1,493,000	1,273,000	220,000
給料	7,227,000	7,027,000	200,000
手当	3,624,000	3,573,000	51,000
退職給付費用	753,000	642,000	111,000
賃金	818,000	1,360,000	△ 542,000
福利厚生費	1,766,000	1,780,000	△ 14,000
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	105,000	135,000	△ 30,000
通信運搬費	488,000	425,000	63,000
消耗品費	1,080,000	960,000	120,000
修繕費	100,000	200,000	△ 100,000
印刷製本費	100,000	100,000	0
燃料費	360,000	360,000	0
光熱水費	1,756,000	1,756,000	0
賃借料	1,186,000	1,289,000	△ 103,000
手数料	406,000	406,000	0
租税公課	4,633,000	4,722,000	△ 89,000
支払負担金	193,000	183,000	10,000
賞与引当金繰入額	725,000	706,000	19,000
委託料	540,000	540,000	0
保険料	494,000	387,000	107,000
備品費	100,000	100,000	0
経常費用計	506,780,000	505,345,000	1,435,000
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 1,135,000</b>	<b>△ 1,132,000</b>	<b>△ 3,000</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,135,000	△ 1,132,000	△ 3,000
一般正味財産期首残高	201,120,721	200,541,430	579,291
一般正味財産期末残高	199,985,721	199,409,430	576,291
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額	22,822,000	22,822,000	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 22,822,000</b>	<b>△ 22,822,000</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	301,985,897	324,807,855	△ 22,821,958
指定正味財産期末残高	279,163,897	301,985,855	△ 22,821,958
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>479,149,618</b>	<b>501,395,285</b>	<b>△ 22,245,667</b>



資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		使 途	
	該当なし				

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載する。

2 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達方法又は取得資金の使途	
	該当なし				

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。

